

iPass Open Mobileをご利用になる際の確認事項

海外に出発する前に以下の項目についてご確認ください。
以下の内容は、保証、サポート外となりますので十分にご注意ください。

1. 電源は大丈夫ですか？

日本の電圧は100Vですが、海外では110V～120V、あるいは220V～240Vが使用されている国があります。使用するパソコンの対応電圧をあらかじめ調べ、必要であれば高電圧対応の電源ケーブルを用意してください。対応電圧以外での使用は火災、故障の原因となります。

2. コンセントの形状は大丈夫ですか？

電圧が日本と同じ100V、もしくはパソコンが高電圧対応でも、コンセントの形状が異なっている場合があります。あらかじめ現地のコンセントの形状を調べ、必要であれば購入しておきましょう。
ホテルなどで貸し出している場合もあります。事前に確認しておくことをおすすめします。

3. モデムやモジュラーケーブルは大丈夫ですか？

日本製のパソコンに内蔵されているモデムは、海外での使用に対応していない場合もあります。あらかじめ対応しているかどうかを調べておきましょう。
また、国によってモジュラージャックの形状、電圧が異なっている場合もございますのでこちらも調べておきましょう。

4. ダイヤラーは正常にインストールされていますか？

海外ローミングサービス接続専用ソフト「iPass Open Mobile」は国内でインストールし、日本国内で試験を行ってから出発しましょう。

インストールの不備、モデムが故障していた場合は、利用できない可能性があります。

また、インストール後、必ず電話帳を最新に更新しておいてください。

※ トールフリーアクセスポイントは同一国内でしか利用できませんので、日本国内で試験を行う際は、トールフリー以外のアクセスポイントをご利用ください。

※ 国内から海外へのアクセスポイントに接続試験を行うと国際電話料金がかかります。

5. ワイヤレスブロードバンド（無線LAN）の場合

無線LANの場合は、世界共通のWi-Fi規格（IEEE802.11b）であるため、日本国内で問題なく利用できる場合は特に注意する点はありません。

使用後は必ず「iPass Open Mobile」の切断作業を行ってください。切断せずにパソコンまたはスマートフォンのみの電源を切るとインターネットに接続したままの状態になる可能性が高く、その場合引き続き利用料金が発生することがありますのでご注意ください。

6. ワイヤブロードバンド（イーサネット）の場合

ホテルや空港で用意されているLANケーブルをパソコンのLANポートに接続します。イーサケーブルは世界共通であるため特に注意する点はありませんが、使用後は必ず切断作業を行ってください。切断せずにパソコンのみの電源を切ったりケーブルを抜いたりするとインターネットに接続したままの状態になる可能性が高く、その場合引き続き利用料金が発生することがありますのでご注意ください。

7. 海外対応スマートフォンでご利用いただく場合

海外で3G回線（データローミング）を使用すると少量のデータ通信のみで高額な請求が発生する場合があります。

ご契約の携帯キャリアによっては、パケット定額サービスなどがありますが、数分のご利用で上限に達する場合があります。

本サービスと併用された場合は、定額のとは別請求となりますのでご注意ください。

また、携帯キャリアのパケットをご使用されないで本サービスのみをご使用されるかたは「データローミング」をOFFにしてください。

※ サービス内容および提供条件は、改善等のため予告なく変更する場合があります。

※ 記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の登録商標および商標です。